

アトア

—岩手県民のてとてをつなぎ、環境の輪を広げるために—

家づくりスタート



どんなエコハウスがいいの？
長澤さんが問いかけ



まずはエコハウスの
設計図を考えます



どの材料がいいかな

10月8日環境学習交流センターにて
環境学習講座「未来に続く家づくり」が開かれました。
はじめに家づくりのプロである長澤沙織設計室の長澤沙織さんに、
家づくりで大切なこと、エコハウスのポイント、こちよく安心して暮らす
ためのお話をいただきました。その後、子ども達が設計図を描き、材料を選
び、自分だけのエコハウス作りに挑戦しました。材料は木やパネルの
端材、段ボールなどです。これをうまく組み合わせ、工夫を重ね、
素敵なエコハウスを作りました。



大工さんに必要な大きさに
切ってもらいました

完成です！
素敵なエコハウスの



指導にあたった長澤さんとポーズ



接着剤やテープを使って作成中！



いよいよ冬将軍の到来です。地球温暖化による気候変動が激しさを
増していますが、この冬の寒さは、どうなるのでしょうか。
体調を整え、風邪などひかないように、新型コロナウイルス対策で
培った手洗い、うがいの徹底など、健康には十分注意し、元気で新し
い年を迎えましょう。



* Index *

- 「いわて環境学習応援隊」企業の紹介 ～株式会社長府製作所花巻工場～
- こどもエコクラブ交流会
- ICT技術を活用した総合的な学習の時間
- 環境アドバイザー派遣事業
- 地域循環共生圏のつくり方をまなぶ⑦
- 環境学習交流センターイベント情報



環境アドバイザーの問いかけと子どもたちの答え

Q. 皆さんは流れる川の水面を言葉で表すとしたら、どう表現しますか？

A. 子どもたちの答え

「ぷくぷく、さらさら、ぐにゅぐにゅ、ぽとぽと、どぼどぼ、すいすい、ゴーゴー」

子どもたちの疑問に対する環境アドバイザーの答え

Q. 川の水はどこからくるの？どうして続いているの？

A. 中津川の奥の山々や、周辺に降った雨水が少しずつしみ出て川になります。時間をかけ

地域循環共生圏のつくり方をまなぶ⑦

一地域版マンガらづくりのポイント

地域循環共生圏は国の第5次環境基本計画に示された考え方で、地域の課題を踏まえ、地域資源を循環させ広域的ネットワークの形成を目指すものです。そこでは、地域資源の活用をイメージする曼荼羅(マンガラ)作りが推奨されます。今回はマンガラ作りのポイントを紹介いたします。

(1) 環境・経済・社会の統合的向上を意識

地域には環境・経済・社会の複合的な課題があります。マンガラ作りには環境・経済・社会を統合するキーコンセプト「自立分散・相互連携・循環／共生」が重要です。

○自立分散(オーナーシップ)

地域循環共生圏の主役は地域の皆さんです。地域の資源を生かし自立を目指します。

①物・サービス・エネルギーの購入で地域外に流出していた資金について、地域の資源を活用し資金の流出を減らし地域内の循環割合を高めていきます。

②地域内の人材活用を進め、所得を地域内で循環させます。

○相互連携(ネットワーク)

地域内で足りない資源は他の地域と補完し支え合います。

①農山漁村と都市は補完的な関係にあり、状況に応じ、強み・弱みを補完します。強みの分野は外から受注し、弱みの分野は他に発注し、資源等の活用を図ります。

②農山漁村は人口減少・高齢化の影響があり、人材面の弱みがあります。幅広い領域から人材等の提供を受けるのも一手段です。

○循環／共生(サステナブル)

資源浪費型から自然資本のストックの維持再生を図り、恵み(フロー)を活用する社会を目指します。マンガラに循環／共生の視点を取り入れます。

①化石燃料のようにストックを消費する仕組みではなく、豊かな水や清浄な空気、食料等の恵み(フロー)を引き出し、森里川海の恵みが持続的に循環する仕組みに変えていきます。

②地域の自然資源・枯渇性エネルギー等の過剰消費(オーバーユース)や、自然資源等の過少利用に伴う管理不足(アンダーユース)による自然環境等への負荷を減らします。

(2) 共感できる内容と地域の既存の取組への目配り

地域版マンガラは多くの人に関わり共感するものです。共感のイメージが湧くか、自分の組織がどう関わるか想像してみます。地域循環共生圏づくりは地域の総合政策です。既に取組がある場合、連携し、地域の別目的(農林水産振興や災害対策等)の取組を、ありがたい未来に向かって連携できるように取り入れていきます。



◆出典◆
環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくり
◆環境省ホームページ◆
<http://chiikijunkan.env.go.jp/pdf/manabu/souzounotebiki.pdf>

環境学習交流センターイベント情報

★センター展示情報★

◆The first penguin to the smart country
～子どもたちに輝く未来を～(株式会社小田島組)

期間：12月1日(木)～1月31日(火)

◆動物写真パネル展示(盛岡市動物公園 ZOOMO)

期間：1月10日(火)～3月31日(金)

★環境学習講座★

◆炭電池でLEDを灯してみよう!

期 間：1月14日(土) 13:30～15:00

場 所：環境学習交流センター

定 員：20名(小学3年生以上) 要申込み
参加費：無料



てとて51号アンケートのお願い

掲載記事に関してご意見をお寄せください。右のQRコードから入りアンケートにお答えください。



環境学習交流センターでは環境アドバイザーの派遣、センターにおいていただく訪問学習、エコカーゴで出向く出張環境学習会を行っています。お気軽にご相談ください。

●「いわて環境情報板」(WEB掲示板) 発信中です! ●

岩手県や県内自治体の環境情報、イベント情報、助成金情報などを中心にお伝えします。

環境という広範囲な話題を、皆さんにとって身近に感じられるよう、その時々タイムリーな情報と切り口でお届けします。毎月発信していきますので、お楽しみに!

「いわて環境情報板」：<http://www.iwate-eco.jp/know/mailmag.html>

いわて環境情報板 🔍 検索

発行 環境学習交流センター

〒020-0045

盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F

TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

○環境学習交流センターは、特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが岩手県から委託を受けて、県との協働により運営しています。

[E-mail] eco@aina.jp

[Website] <https://www.aina.jp/site/environment>

[Blog] <http://blog.iwate-eco.jp/>

[Twitter] http://twitter.com/iwate_eco

[Facebook] <https://www.facebook.com/iwate.eco>

